

16. 第2回 MSJ-SI (2009年度) 開催報告

●第2回日本数学会季期研究所(The 2nd MSJ-SI) "Arrangements of Hyperplanes"

●日時: 2009年8月1日(土)
~8月13日(木)

●場所: 北海道大学学術交流会館

●組織委員: 寺尾宏明(委員長, 北海道大学), 阿部拓郎(京都大学), 吉永正彦(京都大学), Sergey Yuzvinsky(オレゴン大学)

●主旨・運営: 超平面配置という自然で単純な対象が, 様々な分野の数学にどのように登場し, どのような interactions を起こしているかを検討するとともに, 現在までに, 超平面配置の理論自体がどこまで発展しているかの現状を分析することが本研究集会の目標だった. 本研究集会は2部構成で, 前半5日間(8/1-5)は, 超平面配置に関する入門的サーベイ講演を, 第一線の専門家による連続講演として行った. すなわち, 超平面配置への平易な入門講義の後, 超平面配置との関連の深い分野であるトポロジー, 特異点論, 計算代数, 組合せ論, 統計学, 数理論理, 代数幾何との interactions について, 各分野の leading experts から入門講義があり, 非専門家・専門家を問わず, 評判の高い内容だった. 後半6日間(8/8-13)は, 超平面配置, 及び関連分野のさまざまな研究者による1時間招待講演と, 申込制による short communications があつた. 最新の研究成果から問題の提示まで, 講演内容・関連分野は, 多岐にわたっていたが, すべてが, 程度の差こそあれ, 何らかの形で超平面配置と関連するものだった.

また, 日本数学会が, MSJ-SI の目的のひとつであるアジアの数学発展を考え, 大韓数学会と台湾数学会から各3名の数学者を招聘してくれたことに加え, 以下の運営の援助をいただいたことは大変に有難かつた.

- ・理事長名による招待状の発送
- ・国内からの参加希望者メールへの返信
- ・会期初日と2日目の受付デスクへの対応

●サーベイ講演者(前半 8/1-5):

(海外4名, 国内4名)

○Arrangements and Topology : (3時間)
Toshitake Kohno (Univ. of Tokyo)

○Arrangements and Singularities : (3時間)

Kyoji Saito (IPMU)

○Arrangements and Computations : (3時間)

Hal Schenck (Univ. of Illinois)

○Arrangements and Combinatorics : (3時間)

Richard Stanley (MIT)

○Arrangements and Statistics : (3時間)

Akimichi Takemura (Univ. of Tokyo)

○Arrangements, Hypergeometric Integrals and Physics : (3時間)

Alexander Varchenko (UNC-Chapel Hill)

○Arrangements and Algebraic Geometry : (3時間)

Masahiko Yoshinaga (Kyoto Univ.)

○Arrangements (Introduction) : (2時間)

Sergey Yuzvinsky (Univ. of Oregon)

●1時間招待講演者(後半 8/8-13):

(海外18名, 国内7名)

Kazuhiko Aomoto (Nagoya Univ.)

Christos Athanasiadis (Univ. of Athens)

Anders Björner (Mittag-Leffler Institute)

(Axel Hultman (Royal Inst. of Tech., Sweden) 代読)

Ivan Cherednik (UNC-Chapel Hill)

Daniel Cohen (Louisiana State Univ.)

Graham Denham (Univ. of West

Ontario)

Antoine Deza (McMaster Univ., Canada)

Igor Dolgachev (Univ. of Michigan)

Michael Falk (Northern Arizona Univ.)

Eva Maria Feichtner (Univ. of Bremen)

Yoshishige Haraoka (Kumamoto Univ.)

Hironobu Kimura (Kumamoto Univ.)

Anatoly Libgober (U. Illinois Chicago)

Eduard Looijenga (Univ. Utrecht)

Katsuhisa Mimachi (Tokyo Inst. Tech.)

David Mond (Univ. of Warwick)

Jorge Vitória Pereira (IMPA, Brazil)

Claudio Procesi (Univ. di Roma)

Richard Rimanyi (UNC-Chapel Hill)
Mario Salvetti (Univ. di Pisa)
Ichiro Shimada (Hiroshima Univ.)
Alexandru Suciu (Northeastern Univ.)
Dai Tamaki (Shinshu Univ.)
Tomohide Terasoma (Univ. of Tokyo)
Uli Walther (Purdue Univ.)

●Short communications (30分) : 9名
(海外8名, 国内1名)

●参加者 : 179名

【内訳】

国内 : 117名

(うち学部生・大学院生 : 16名)

海外 : 62名

(うち学部生・大学院生 : 13名)

米国18名, 韓国9名, イタリア6名, 台湾5名, カナダ3名, 中国, ドイツ, イスラエル, ベトナム/各2名, イギリス, フランス, オランダ, スペイン, スウェーデン, スイス, ハンガリー, ギリシア, ブラジル, ペルー, インド, イラン, パキスタン/各1名

●Webpage :

<http://mathsoc.jp/meeting/msjsi09/>

●Proceedings 出版計画 :

ASPM より出版の予定.

(寺尾宏明 記)